

# 一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 145号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

## 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期21年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4200日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は266名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



## 沢山の柿の差し入れに嬉しさと美味しさが10日間続く

今朝の駅立ちは、せんげん台駅東口で通常通り午前5時30分前から市政レポートの配布を開始した。午前4時頃に起床して身支度をして自宅を出るのは午前5時前との定番の慣習となっているが、11月に入り秋も深まりあたりは真っ暗の中で、妻の運転で駅に向かう。

駅に到着後街宣用具の搬出とセッティングもここ21年間変わっていない。

駅前清掃に、便利なほうきと塵取りが一体となった道具も21年間も使い続けているが、このほうきセットは朝の駅立ち以外には使用していないのでこんなに長く使えている。

しかし、街宣用具の内、アウトドア用の折り

畳み机は、3代目、駅前市政報告会と表示している垂れ幕も3代目、この垂れ幕を支えるキャンプランタンスタンドは2代目、お知らせの用紙とイベントの案内チラシを貼っておく看板は3代目、市政レポートを設置しているスタンドは、20年間使い続けているのが、強風で倒れることが頻繁に起こっているの上部のプラスチック製のかごがあちこち欠けてしまっているが、ハンドメイドで作成したもので何とか使い続けている。

午前8時前に馴染みの女性から笑顔でこれを食べして下さい、とビニール袋に入った沢山の柿の差し入れを頂いた。(恐らく自宅の庭でたわわになったものか、実家から送られてきたものを職場の仲間にもっていくため鞆に入れて改札に向かっていたところ、私を見かけて急遽差し入れに変えて頂いたのだろう。あくまで推測だが)

午前8時30分を過ぎ活動を終了して迎えに来た妻の車に街宣用具を搬入して帰宅。この日から一日一個ずつ、この美味しい柿を食べたが10日近く続いたので10個以上を頂いたことになる。駅立ち終了後、暖かいコーヒーを一杯飲むのが毎日の習慣となっているが、その後食する柿が一段と美味しく思えた。

(11月5日・月曜日)

## グットルーザーになることも人生の機微・越谷市議会学生議員への私の答弁

本日は午前10時から第7回越谷市議会主催の学生議会が本会場で開催された。

議場には、市内在住の駒沢大学や中央大学等の学生や市内の県立大学、埼玉東萌短期大学、文教大学等の学生14人が着座して、通常の議会と同様に正副議長選挙の後、一般議案の提案、質疑、採決そして一般質問が行われた。

この学生議会は、かつて私が副議長の時代に全国に先駆けて開催したもので2年に1回程度で開催を続けて来た。通常は答弁には市長や執行部が担うのだが、学生議会では議員がそれぞれ担当して答弁席から一問一答方式で答えて行くのが特徴だ。

その時々で、学生議員の質問へのサポート役か答弁役かを事前に決定して本番に臨むのだが今回は私は答弁席に座った。

質問者は、埼玉県立大学の2学年の女子学生で「越谷市における高齢者支援」に(裏へ)

についての質問にだった。

特に学生議員の質問のポイントは介護予防対策に関して認知症対策の中で高齢者やその家族に対して様々な予防対策があるが、楽しく、気軽に体験出来る工夫をどうしているのか、の点だった。更にその工夫を広く市民が当事者として受け止める機会の周知と参加意識の涵養はどうしているのか、との2回目の質問だった。

答弁では、越谷市が取り組んでいる現状の取り組みや事実関係は正確さが必要なので、担当課長と事前に十分打合せを行い、必要な関係資料の提供要請にも対応して頂いているので、1回目の答弁はこれに沿ったものだった。(基本的には執行部の考え方)

しかし2回目の質問のポイントは、市民への告知や参加の在り方という、介護予防に限らず市政全体に通底するテーマだった。

このため、私自身の考え方で答弁したが、特に参加の視点では政治参加は大きな課題であり先般の米国大統領選挙の結果は米国だけでなく、日本をはじめ世界各国に大きな影響を与えている。それは米国発の女性大統領の誕生やインド系の黒人女性という多様性のモデルとなったカマラ、ハリス氏に注目が集まったが結果はトランプ氏の勝利となった。

そこで、敗者となったカマラをはじめ選挙やスポーツや人生においても敗者となることは起きる。この時に良き敗者(グットルーザー)になれるのかが人間としての真価が問われる。

カマラは、大統領選挙報告集会に集まった民主党支持者の特に打ちひしがれ涙がほほを伝う女性や若者に向けて、平和的に政権移行をすみやかに実行することを明言した上で(前回選挙の4年前には敗北を一切認めず、大統領府に多くの共和党支持者を先導し暴力と破壊活動によって4人もの死者を出したトランプの行為とは対照的)「星空は真っ暗闇の中で光り輝いている。これから暗黒の時代を迎えるかもしれないが、今から10億万個の星によって満天を輝かせませましょう」と強調した。

(答弁の概要。詳しくは越谷市議会 HP、[https://koshigaya.gijiroku.com/g07\\_Video\\_View.asp?SrchID=1880](https://koshigaya.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=1880)・15分程度)

同じように大統領選挙で民主党のオバマに敗れた共和党のマケインも敗北宣言をして当時の共和党集会でも、ヤジを制して「オバマと自分には政治的主張や考え方に違うものがある、しかし今後米国の未来を共に作っていく使命は共有しており、そのためには全面的にオバ

マに協力していく準備がある」と訴えた有名な演説がある。これが、本来の米国の政治指導者であり、また共和党の良識と良心であったはずだ。この伝統は今やトランプやその支持者によって完全に破壊されてしまった。共和党はトランプ党に墮落した。自由貿易や法の支配による秩序という世界共通の理念から、はるかかなたから米国は塗炭のスタートをきってしまった。

(11月9日・土曜日)

## 議員有志の会が主催した第6回市政報告会・自治会活動は高齢者と特定の市民参加だけ、どうする？

今朝の駅立ちは、新越谷駅東口で午前6時前から市政レポートの配布を開始したが、最近駅前掃除の実施にあたりごみや吸い殻の散乱がなく、むしろあまり掃除する必要がないほどだ。

午前5時30分前には駅に到着しているので、これより前に清掃係の高齢者男性が作業をしているのだろうか。

通常通り午前8時30分過ぎまに活動は終了したが、本日は午前10時から、第6回市政報告会が越谷駅商店街の中の「SOKO802」を会場に開催されるので、その準備のため午前9時前には会場に駆け付けた。主催は越谷市の超党派6人の議員。9月越谷定例市議会の中で5点をまず、それぞれの議員が分担して説明をしたのち会場やネット参加の市民からの質問や要望に応える方式はこれまで通り。

この中で特に大きな論議となったのは、市民に最も身近な自治会活動に関して、近年役員の高齢化や行事への参加者の固定化や子育て世代の“無関心”をどうして行くのか、について各議員からの意見が求められた。

私からは、高齢化、人口減少時代は、言い方を変れば日本や地域が衰退し行くことにほかならない。これは歴史的、社会的に初めてのことだ。もはや以前の時代の様な成長がやってくることもない。この事実と冷静に向き合う事は、議員や行政はもとより何よりも市民自身が問われている。だから、高度成長期に策定された様々な制度や意識を前提として組織運営や意識化は、殆ど役に立たない。問われているのは、問題の共通認識とモデルなき社会に対する市民自身の当事者意識ではないのか、と。ただ、それほど簡単ではない、とも強調した。

(11月12日・火曜日)